

令和7年度事業報告書

・保育について

令和7年度は、昨年から引き続き保育質の向上への取り組みを重点項目として進め、保育の様々な取り組みを行ってきました。この保育スタイルに切り替えた令和4～5年度、なぜ子どもが主体的に活動できるように環境を整える保育にするのか、なぜ職員間のコミュニケーションが大切なのか意識改革から始まりました。意識の向上がみられた令和6年度はグループワークや公開保育などを積極的に行い、職員が当事者意識を持って職務にあたるように自らの意見を出せるよう実際にコミュニケーションを取るための取り組みを意図的に行ったり、外部の保育者や講師を呼び客観的な立場から助言いただいたりして、様々な問題や気づきを課題として提起して話しあう姿が見られました。そして令和7年度は保育者が学びや経験によって得た意識を、実際の保育にどんどん生かしていこうという強い意欲が感じられる年になりました。やりたいことやトラブルへの対応などで関係した子どもたちが会議をして原因と解決を探り出す機会を与え、秋以降はサークルタイムとして定期的に子ども会議を行い、次に遊びたいこと、おたのしみ会などの取り組み、困っていることをどう解決するかなど話しあいながら子どもたちが決めていくようにしました。見守る定義を「保育者はただ子どもを見ていればいい」ということではなく「子どもたちが発見をする機会を作る」「子どもたちの学びのタイミングを逃さない」などとして「意図的に子どもたちの成長を見守る」姿勢を大事にすることができました。

・保育書類の見直し

保育書類の見直しを進めています。日誌をエピソード記録メインにしてエピソードから評価反省振り返り・次の保育へどうつなげるか見えるようにしました。変えた主な理由は「今の子どもの姿を大切にしたい」からです。個々のエピソードが見えるから一人一人を見るようになり、保育士一人一人が全クラスの子どもの関心を持つようになり、日誌から個々の育ちを読むことが出来るくらい充実した内容になったことで各クラス連携して子どもを見ることが増え、子どもの姿を通じて職員間のコミュニケーションが増えました。次年度に月案・週案を保育Webに変更します。変更する理由は、従来の月案・週案では本当の子どもの姿が見えてこない、担当者だけの視点になりがちになる、保育WebはAIでは作れないものであることがあげられます。令和7年度は練習のために作成してきましたが、見えてくるものがたくさんあり書類に残す意味を再認識できる内容になりました。これら書類の見直しだけで「今の子どもの姿の可視化」ができ、保育の質向上につながりました。

・施設の充実を図るための工事を行いました。

施設の建物、園庭遊具などが古くなっているのでメンテナンスや交換工事を積極的に行いました。保護者が保育園を選ぶ際に保育の質も大事ですが、建物や部屋の環境を重視していることが見受けられるので少しずつ良い環境をつくるための工事を入れていきたいと思っています。

2025年度工事実績

- ・外階段塗装、防水工事
- ・園庭鉄棒交換工事
- ・老朽化園庭遊具撤去
- ・トイレ修繕
- ・1階天井塗装工事

2025年度 高見保育園 評価反省チェックリスト

※保育質向上を図れるように高見保育園という視点で継続的に行う評価反省チェックです。職員一人一人が個々に行ったアンケート結果を公表することが義務付けられているのでHP及び園内掲示していますのでご確認ください。

回答数 24

(評価方法：1…とても思う 2…思う 3…どちらともいえない 4…そう思わない 無…無回答)

Q1 保育園の理念は、わかりやすい。

「生きる力を育てる」「自分で考え、自分で選び、自分で行動する子ども」

1	22	2	2	3	0	4	0	無	0
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---

Q2 保育園の理念、方針は保育に生かされている。

1	19	2	5	3	0	4	0	無	0
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---

Q3 保育園の理念、方針は子どもたちの育ちに生かされている。

1	17	2	7	3	0	4	0	無	0
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---

Q4 日々の保育、エピソードなどについて園長や他の保育士と話す機会がある。

1	15	2	9	3	0	4	0	無	0
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---

Q5 保育園の方針や保育目標がその時々の子に合ったものになるように見直せる雰囲気だと思う。

1	10	2	14	3	0	4	0	無	0
---	----	---	----	---	---	---	---	---	---

Q6 園児のしたいことや、興味のあることを取り入れるために職員間の意思疎通、個々に意識して保育できる環境にある。

1	14	2	10	3	0	4	0	無	0
---	----	---	----	---	---	---	---	---	---

Q7 全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重するように気をつけている保育園である。

1	18	2	6	3	0	4	0	無	0
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---

Q8 保護者との信頼関係のよい保育園である。

1	15	2	8	3	1	4	0	無	0
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---

Q9 トラブルがあった際の対応は、不安なく園全体で対応できる。

(ケガ、誤嚥、感染症、防災、疾病、保護者対応等)

1	13	2	10	3	1	4	0	無	0
---	----	---	----	---	---	---	---	---	---

Q10 各種マニュアルなど、整備されている。

1	18	2	6	3	0	4	0	無	0
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---

2025年度 自己評価反省職員コメント（抜粋）

ひよこ・うさぎ組（0、1歳児）

- 今年度は合同保育（0、1歳児）がうまくいくようにクラスの流れ等を考えたり、皆で共有できるように会議をこまめに作らせてもらったり配慮しました。流れがうまくいくように考えたことで職員も動きやすかったのではないかと思います。意見がたくさん出た時に、違った意見が出たりとまとめるのが大変だったなと感じました。
- 1年間振り返ってみて乳児クラスはコミュニケーションが良く取れているクラスだと思いました。私自身も保育、子どもの話を他の職員に話すように心がけていきました。クラスの先生と定期的に話すことで次これやってみようなどと次につなげていけたように感じます。環境を課題にいろいろ考えましたが職員が多いと意見の違いが出たときに難しいと思いました。来年度の課題としてはもっと考えや保育の引き出しを増やしていき日々の保育を充実させたいです。
- 子どもの「やりたい!」「やってみたい!」を出来るだけ取り入れて、いろんな経験が出来るようにしました。子どもの甘えたい気持ちを受け止めて、安心して過ごせるようなかわりをするよう心掛けました。
- 来年度は、より職員間でのコミュニケーションを多くしてチーム保育を意識しながらみんなで声をかけあって保育したいです。
- 今年度はベテラン保育者が多い中で、お互いの保育観を話したり、コミュニケーションを今まで以上に心掛け、相手の意見も否定することなく受け入れるように協調性を感じながら大切に保育しました。来年度は、環境に力を入れたいと感じています。余談ですが、園長先生のかぶりもの気に入ってます！楽しい園だなあ〜と心が温かくなります！
- 乳児クラスと幼児クラスの間で情報共有（〇〇クラスで咳が流行り始めていたよとか、行事の準備でこんなこと始めてたよ）など、ささいなことですが自分の知っている情報をお互いに話したりしてそれぞれの様子を知るきっかけづくりをしました。
- 園全体をいろいろと知り、いろいろ学ぶ1年でした。

すみれ組（2歳児）

- いろいろなことに挑戦できた1年でした。クラス内でいろいろ任せていただくことがあったりと不安な部分もありましたがわからにことはとにかく他の保育者に聞き、助言をいただいで、この1年を乗り越えることができました。来年度は、この1年で経験したことを活かし、さらに1つ1つの質をあげられるように取り組んでいこうと思います。
- 子どもたちの主体性を尊重し、個性を生かした保育をこころがけた。子ども会議とまではいかないが、すみれ組なりに活動内容をみんなで決めるなど、自分の意見をはっきり話せる環境を食ってみた。多数決ではまだみんなが全部手をあげてしまう子どもたちだが楽しく、活気があり、これでいいと今の段階では思っています。
- 子どもたちとやりたいことを話し合っ決めてきたことで子どもたちがより積極的に取り組んでいることを実感した1年でした。特に、おたのしみ会はその日に何をするかなど子どもたちに決めてもらって取り組んだのも積極的な姿がみられた要因です。
- 今年度は初めて医療的ケア児との関わりがあり、医療と保育園にいる意味、どのような保

育への参加の仕方があるかなど学び勉強になりました。これからも医療的ケア児の保育について考えていきたいと思います。

- 朝の行き渋りがある子の興味のあるものを見つけて用意をしたことで自分から保育室に入って来られたときは心の中でうれしかったです。子どもたちが毎日笑顔で登園できるよう色々考えていきたいです。

たんぽぽ・ほし・ひかり組（3、4、5歳児）

- 子どもの声に耳を傾ける意識をしました。日々の保育の中で今の子どもへの返答が間違っていたか、今の返事は違ったかと思ったときには再度子どもの元へ行きあやまって応えるよう心掛けました。
- （初の幼児クラス）今までと違った環境で不安も多かったですが幼児クラスも話しやすい先生方が多く助けられました。子どもたちもすぐに受け入れてくれて保護者の方にも「先生がいるから」と言われるのがうれしくてがんばれました。
- 来年度は、子どもたちの声を聞いて一緒に楽しむことを心掛け、子どもたちの笑顔が増やせるように堂々と保育していきたいです。
- 各クラスでの活動や臨機応変に合同保育をするなど、その日の子どもの様子や気持ちに合わせて保育しました。
- 支援が必要な児についてクラス等で共有し、好きなことを増やせるようにしたり、1日を通して落ち着いて過ごせるように心がけたことでクラスがまとまってきたと感じます。インクルーシブ保育についても話し合ったことで自分の考えを新しくすることができ、様々な保育を行えたこともよかったです。
- おたのしみ会などで「こどもたちのやってみたいこと」を中心に行うことが出来て良かったと思います。引き続き「主体的な保育」を考えて保育をしていきたいと思います。
- 今年度から4、5歳児が合同になり、今まで以上に保育者同士のコミュニケーションが取れた1年でした。支援児の様子や活動の内容、その他にも子どものエピソードを細かく伝えあいました。各クラスでの活動や臨機応変に合同保育をするなど、その日の子どもの様子や気持ちに合わせて保育ができました。
- 幼児クラスの先生方と中心に、昨年のグループワークと一緒に学んだこと、気づいたことが保育の中に活かされていることを感じ、昨年の取り組みの手ごたえを感じる事が出来ました。

職員研修等

① 園外研修

- 幼児教育の意義 • 支援を必要とする子どもの理解と幼保小の連携による支援
- 映像から子どもを語る • 障害児保育の理解と環境
- 支援コーディネーターに求められること • 乳児保育の意義 • 乳児保育の環境
- 組織を育てるうえでのミドルリーダーの役割
- 食物アレルギーに関する知識
アナフィラキシーショックの理解と対応
アレルギー疾患の理解と保育所におけるアレルギー対応
栄養に関する基礎知識
- 特定給食施設等管理者講習会「食品衛生について」 • 食育計画の作成と活用
- 保育所における食事提供のガイドラインについて
- 乳児への適切な関わり • 幼児教育の指導計画、記録及び評価
- 小児の発育・発達理解と個別的な配慮を必要とする子どもの対応
- 保育の質向上を目指した園マネジメント • 障害のある子どもの理解
- 日本人の食事摂取基準 2025 年度版の概要と給食での活用
- 保育現場における災害対策 • 保護者支援、子育て支援の意義
- 子どもの権利を保育の中で考える • 幼児教育の環境
- 小学校との連携 • 幼児発達に応じた保育内容 • 保健計画の作成と活用
- 保護者に対する相談援助 • インクルーシブな教育、保育とは • 乳児発達に応じた保育内容
- 医療的ケア児支援研修「医療的ケア児及び重心児が当たり前で生活している未来のために」
- 保護者支援、子育て支援「虐待予防」 • これだけは知っておきたい感染症の基礎知識と対応
- 保育実践、実技に関する研修「支援保育の理解」 • 障害児の発達と援助
- 子どもの最善の利益から考える保育の実践例 • 乳児保育の指導計画、記録
- 障害児保育の支援計画、記録及び評価 • ファシリテーター育成研修
- 保健衛生、安全対策に関する研修「事故防止及び健康管理」
- 相模原市保育ガイドラインの理解と活用
- 保護者支援、子育て支援における専門職、関係機関との連携、地域資源の活用
- 教育、保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応ガイドラインについて
- 次世代の保育者を育てるには
- 幼保小連携研修「幼保小協働による架け橋期の教育充実について」
- 命を守るために～災害発生時に最善の判断と行動をするため、備えたいこと～
- 社会福祉法人会計 • 傾聴技法
- 保育の質を高めるチーム作りと組織マネジメント
- 他施設への視察（市内4件、市外7件）

② キャリアアップ研修

保護者支援・子育て支援・乳児保育・幼児保育・障害児保育・安全衛生
食育・マネジメント

③ 園内研修

- 保育者が考えた研修「共通点探しゲーム」
- 絵本の魅力
- 保育所内における嘔吐処理訓練及び感染症に関する確認
- 発達障害の基礎知識 ・ 人権について ・ プール事故について
- AED 講習会、救急対応（心肺蘇生）
- ケース会議・情報交換

④ 外部講師

「子どもを尊重する保育～アドラー心理学を活かした保育」

子育てと保育の学び舎 cocorone 代表

「AED 救急救命」 フクダ電子株式会社担当

「楽しく絵本に接してほしい～絵本の楽しみ方と選び方～」 こどものとも社支店長